

評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所名	医療法人 豊愛会 ほうみ苑		
所在地	下関市豊北町栗野 2397番地		
電話番号	083-785-0221	事業所番号	3577800232
法人名	医療法人 豊愛会		

訪問調査日	平成 21 年 9 月 25 日	評価確定日	平成 21 年 12 月 16 日
評価機関の名称及び所在地	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク 山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		

【情報提供票より】

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員計	9 人
職員数	7 人	常勤 6 人 非常勤 1 人 (常勤換算 7 人)	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	~ 1 階部分

(3) 利用料等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃	月額 31,000 円	敷金	無 円
保証金	無 円	償却の有無	無
食費	朝食 300 円	昼食 350 円	
	夕食 350 円	おやつ 1ヶ月 300 円	
その他の費用	月額 15,000 円		
	内訳 光熱水費(10,000円) 日常生活費(5,000円)		

(4) 利用者の概要 (8月15日現在)

利用者数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
	要介護 1	1	要介護 4 1
	要介護 2	2	要介護 5
	要介護 3	5	要支援 2
年齢	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医科 豊北病院、豊北クリニック 歯科 佐々木歯科
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

(優れている点)

運営推進会議のメンバーに全家族が入っており、運営推進会議後に家族との個別面談で介護記録を開示し、状況説明や意見・要望を聞いて、介護計画の作成に反映させておられます。自治会の溝掃除の参加やホームだよりの配布、知人の訪問、理美容院の利用、緊急連絡網の確保の協力や合同の避難訓練の実施予定などで、地域との連携に取り組んでおられます。

(特徴的な取組等)

年2回の法人の防災訓練(夜間想定を含む)や緊急連絡網や避難訓練実施で地域との関係作りに努めると共に、各居室を出火場所として、施設の平面図を使ってイメージトレーニングをしたり、利用者一人ひとりの状態に応じた避難訓練をし、危険な所や避難方法の把握に努めるなど、災害に対する取り組みの工夫をされています。

【重点項目への取組状況】

(前回の評価結果に対するその後の取組状況)

相談、苦情の受け付けについては、第三者委員を選任し、担当者を明記されています。隣接する法人の病院と連絡を取り急変や事故発生に備える仕組みとなっており、看護師による誤嚥の指導を受けるなどできるところから取り組まれています。

(今回の自己評価の取組状況)

自己評価の意義を説明し、一部コピーしてミーティング時に数回に分けて全職員で検討し、管理者がまとめて記入後、再度職員と結果を確認して提出しておられます。

(運営推進会議の取組状況)

利用者、全家族、民生委員、自治会長、公民館館長、老人会会長、市職員のメンバーで2ヶ月に1回開催されています。利用者の現状、外部評価の報告、避難訓練等で意見交換して、緊急時の連絡網、緊急放送、ホームだよりの回覧等地域との協力体制が整ってきています。

(家族との連携状況)

運営推進会議後に家族会を開催して介護記録を開示して要望を聞いておられます。また、花見、誕生会、紅葉狩り等、家族一緒に行事や面会の時に日頃の状況を報告しておられます。電話での連絡、暑中見舞いや年賀状を出す支援などで家族との連携を取っておられます。

(地域との連携状況)

地藏祭り、金比羅祭り、しらうお祭り、夏祭りなどの地域行事へ参加しておられます。自治会の溝掃除、ホームだよりの回覧、月1回の駅舎のゴミ拾い、地域の商店での買い物、理美容院の利用、知人の訪問、実習生の受け入れなど、地域の人達との挨拶やふれあいを通して、関係づくりに取り組んでおられます。

評価結果

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営 1. 理念の共有</p>			
1 (1)	<p>地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。</p>	<p>地域との関連性を重視し、地域生活の継続を支えるための支援を柱にした理念を作り上げている。</p>	
2 (2)	<p>理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念を玄関、リビング、職員の休憩所に掲示すると共に、ホームだよりにも記載している。また、月1回のミーティングで確認し合うようにして日々取り組んでいる。</p>	
<p>2. 地域との支えあい</p>			
3 (7)	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>自治会に加入しており、年1回の溝掃除に参加し、ホームだよりの配布(回覧)、町内の商店への買い物、理美容院に出向いたり、地域の行事(地藏祭り、しろうお祭り、夏祭り)に参加している。駅舎のゴミ拾いを兼ねての散歩などで地元の人々と交流している。</p>	
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
4 (9)	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価の意義を説明し、全職員で自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果を話し合い、改善に向けてできることから取り組んでいる。</p>	
5 (10)	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。</p>	<p>2ヶ月に1回の開催し、利用者、全家族、民生委員、自治会長、老人会会長、青少年育成会長、公民館館長、市職員のメンバーで、利用者の近況報告、外部評価の報告、防災訓練、避難訓練などについて意見を交換している。</p>	
6 (11)	<p>市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市社会福祉協議会とは権利擁護事業について、また、市民生活課とは生活保護者についての相談や報告など関連部署と連携してサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践する為の体制			
7 (16)	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	運営推進会議に家族も参加している。会議終了後は個別面談をして、介護記録を開示し、意見や要望を聞いたり、金銭管理帳の確認をしてもらっている。家族連絡事項通信覚書きを作成して電話での報告などを記録している。暑中見舞い状、年賀状の郵送、ホームだよりの送付など、一人ひとりに合わせた支援をしている。	
8 (18)	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。	家族会、運営推進会議で意見、要望を表せる機会があり、相談、苦情の受け付け窓口、職員、第三者委員、外部機関を明示し、苦情処理のマニュアルを作成すると共に、法人全体の苦情解決委員会(月1回)で検討し、運営に反映させるように努めている。	
9 (20)	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者の暮らしを出来る限り支えられるよう、利用者の状態や行事に合わせた勤務調整を職員と話し合い、状況変化や職員の病欠等には、公休出勤で対応し調整に努めている。	
10 (21)	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、変わる場合は利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	法人全体での異動は度々あり、異動の場合には日々、指導者と一緒に勤務し、夜勤は3ヶ月後くらいに重複勤務を2回程度行っている。職員が変わった場合は家族会、運営推進会議で報告している。	・職員の異動等を必要最小限に抑える努力の検討
5. 人材の育成と支援			
11 (22)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	勤務の一環として段階的に外部研修を受けると共に、法人の教育委員会の月1回の研修に交代で参加して、復命研修をして質の向上に努めている。	
12 (24)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	山口県宅老所・グループホーム連絡会の研修、交流会に参加し、相互訪問もしている。ブロック研修会(4回)にも参加し、勉強会や交流などでサービスの質を向上させていく取り組みをしている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期 待した 項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
13 (31)	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>利用者、家族が事業所を見学してもらうことから馴れてもらい、1日～3日程度の宿泊体験も可能であり、納得の上でサービス開始ができるようにしている。併設の施設利用者の申し込みもあり、日頃の交流を通して、馴染みとなった上での利用となっている。</p>	
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
14 (32)	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>職員は利用者と一緒に過ごし、野菜の作り方、花の名前、漬け物の作り方を教えてもらったり、お互いに感謝の言葉をかけ合うなどの関係を築いている。</p>	
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>			
15 (38)	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入所時の生活歴、日常生活の関わりの中で知り得た情報をミーティングノートや申し送りノートに記載し、検討して利用者の希望や意向の把握に努めている。困難な場合は見守りながら本人の立場になって話し合っている。</p>	
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
16 (41)	<p>チームで作る利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>介護記録、ケア実施表を家族に開示し、意見等を聞き、職員間で意見交換をして、意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。ケアカンファレンスには、可能な限り家族の参加を依頼している。</p>	
17 (42)	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行なうとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>個別記録、介護記録で評価を行うと共に、3ヶ月に1回の見直しを行い、変化が生じた場合には医師、看護師、家族と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
18 (44)	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>医療連携体制を活かし、受診の付き添い、送迎の支援、理美容院の送迎の支援など、その時々々の要望に応じて、柔軟な支援をしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
19 (49)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	事業所の協力医や本人や家族の希望に応じてのかかりつけ医となっている。家族と協力しての通院介助、情報の伝達の共有などで適切な医療を受けられるよう支援している。	
20 (53)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	看取り介護についての同意書を取り、早い段階から家族、医師、看護師を交えて、事業所で出来るケアについて話し合っている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
21 (56)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	基本理念に掲げ、日々の関わり方や声かけなどを管理者が指導をし、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。個人情報に伴う記録物の取り扱いにも注意をしている。	
22 (59)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりがその日をどのようなペースで過ごしたいかという思いを大切に、起床、就寝、入浴、食事など、その日その時の希望に沿って暮らせるよう支援している。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
23 (61)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	併設の施設から配食されたものを温めたり、盛り付けをして利用者も職員も同じ物を食べている。月3回は利用者の好みの食事を一緒に準備、食事、片付けをしている。1回は買い物から、2回は準備された食材を利用し、利用者は味見など調理に参加している。	
24 (64)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	希望をすれば毎日入浴できる。時間帯は14:30～16:00でシャワー浴、足浴、清拭等、一人ひとりの体調や生活リズムを大切にしながら支援をしている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
25 (66)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	読書、縫い物、園芸、歌、茶碗洗い、洗濯物たたみ、洗濯物干し、草取り、外気浴、散歩、収穫した野菜で漬物作り、草花を活かした生け花など、楽しみごとや張り合い、活躍できる場面づくりの支援をしている。	
26 (68)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	日帰りドライブ、大師参り、花見、紅葉狩りや福祉バスを利用して家族と共に園芸施設等の見学に出かけるなど、戸外に出かけられるよう支援している。	
(4) 安心と安全を支える支援			
27 (74)	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成し、職員は身体拘束をしないケアを理解し、ミーティングやケア会議等で共有して、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。薬については主治医と相談し、指示に従っている。	
28 (75)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵をかけないケアを理解し、ケアに取り組むよう努めている。外出しそうな様子を察知したら、さりげなく声かけをして一緒についていくなど、鍵をかけない工夫に取り組んでいる。	
29 (78)	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	月1回の法人の事故防止委員会で事故やヒヤリはつとに関する報告をし、事故防止のための再発防止を検討している。職員は復命し、事業所で確認している。マニュアルを作成している。	
30 (79)	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	看護師に誤嚥時の対応の指導を受けている。また、ミーティング時にイメージトレーニングをしている。隣接の法人の病院と連携し、急変時に備える仕組みで、事業所独自の初期対応の訓練は充分ではない。	・定期的な訓練の実施
31 (81)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回の夜間想定訓練を含む避難訓練と、年1回苑内平面図を使って、事業所独自の避難訓練や日常的に一人ひとりの状態に応じての避難訓練を実施し、危険な所や方法の把握に努めている。地域と協力しての避難訓練を予定している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
32 (84)	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。	薬の情報は利用者ごとにファイルして、全職員で情報の共有をしている。服薬は手渡しし、服用するまで見守っている。誤薬がないように配薬表で3度確認している。必要な情報は医師、看護師にフィードバックすると共に、変更があれば記録し、申し送りで周知を図っている。	
33 (86)	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力量に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。	毎食後声かけをし、歯磨き、うがい等一人ひとりに応じた支援をしている。義歯は夜、洗浄液につけ保管し、歯ブラシやコップは週1回消毒、乾燥している。	
34 (87)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分摂取量を記録し、カロリーや栄養バランスは法人の栄養士の指導を受けている。お粥、きざみ、ミキサー食、とろみ食など状態や力に応じた支援をしている。	
35 (88)	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	感染症マニュアル、蔓延防止のマニュアルを作成している。手洗い、うがいの励行、ペーパータオルの使用で日頃から予防に努めている。法人の研修に参加し、情報提供での感染防止に努めると共に、利用者、職員共にインフルエンザの予防接種を受けている。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
36 (91)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。	民家改造型で、サンルームでは利用者同士で仲良く話したり、我が家での暮らしが続いているような配慮がなされている。手作りの飾り付けがされ、季節の花が玄関、廊下、居間等に生けてあり、天気の良い日は窓を開放して外気を入れるなど、明るくて居心地良く過ごせるよう工夫している。	
37 (93)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者、家族と相談しながら、テレビ、写真、本などを持ち込み、作り付けのダンス、押入れ、神棚が馴染んでいて、本人にとっては居心地良く過ごせる居室となっている。、和室と洋室があり、希望により和室にベッドを入れるなど、本人の希望を大切にしている。	

自己評価書

【ホームの概要】

事業所名	医療法人豊愛会 ほうみ苑
所在地	〒759-5101 山口県下関市豊北町大字栗野2397番地
電話番号	(直)083-785-0241 (病)083-785-0222
開設年月日	平成 12 年 4 月 / 日

【実施ユニットの概要】 (8月15日現在)

ユニットの名称	ほうみ苑			
ユニットの定員	9 名			
ユニットの利用者数	9 名	男性 1 名	女性 8 名	
	要介護 1	1	要介護 4	1
	要介護 2	2	要介護 5	
	要介護 3	5	要支援 2	
年齢構成	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 95 歳	

【自己評価の実施体制】

実施方法	ほうみ苑職員全員で検討・評価を行いました。
評価確定日	平成 年 月 日

【サービスの特徴】

基本理念

- ・入居者の一人一人を尊重する
- ・良い点を見出し、余裕と想像力を持って接する。
- ・入居者が、家族、地域の人と交流できるよう支援する
- ・地域の一住民として地域活動に参加する

特徴

- ・併設施設が病院であり、医療面でのサポートは昼夜問わず万全です。
その人に合った地域との関わり、安全で穏やかな生活が送れる様に支援していきます。
- ・家族会で花見、もちじ祭り、誕生会などの交流を大切にしています。

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 (1)	○ <u>地域密着型サービスとしての理念</u> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	ホーム独自の理念を作成し、1人1人に合った支援をしています。	
2 (2)	○ <u>理念の共有と日々の取り組み</u> 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念を掲示し、月1回のミーティングで確認し共通の支援をしている。	
3	○ <u>運営理念の明示</u> 管理者は、職員に対し、事業所の運営理念を明確に示している。	ミーティング、又事あるごとに確認し、意識向上に努めている。	リビング、休憩所、ほろみ苑だよりに掲示している。
4	○ <u>運営者や管理者の取り組み</u> 運営者や管理者は、それぞれの権限や責任を踏まえて、サービスの質の向上に向け、職員全員と共に熱意をもって取り組んでいる。	サービスの質の向上には、職員各自の認識が必要であり、ミーティング時に話し合い、相互意識の向上に努めている。	
5	○ <u>家族や地域への理念の浸透</u> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	運営推進会議、家族会、ほろみ苑だより、自治会に配布し、広く伝えています。	自治会に配布している。
2. 地域との支えあい			
6	○ <u>隣近所とのつきあい</u> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえようような日常的な付き合いができるよう努めている。	地域の商店に買い物、散歩を通じて交流している。 知人の訪問も受け入れている。	
7 (3)	○ <u>地域とのつきあい</u> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	自治会内の商店へ買い物、散歩、地蔵祭り、こんぴら祭り、しろうお祭り、夏祭りに参加して交流	祭りの開催時間などの連絡を受けず
8	○ <u>事業所の力を活かした地域貢献</u> 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	散歩を兼ねて、駅舎のゴミ拾い。(月1回程度)	自治会の溝掃除に参加(年1回)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
9	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>職員全員で自己評価をし、外部評価結果の改善項目を検討している。 運営推進会議にも報告し、助言も受ける。</p>	
10 (5)	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。</p>	<p>ほうみ苑で会議も開き、ホーム内の状況や入所者さんと顔も合わせ、年1回皆さんと会食もする 取り組み状況等報告し助言を受けたり話し合う</p>	<p>ほうみ苑内で年1回の会食を必ず入所者さんの状況もを聞いていただく。</p>
11 (6)	<p>○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>報告・相談などを通じて、サービスの質の向上に努めています。</p>	
12	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用するよう支援している。</p>	<p>制度も利用できるので入所者があり、個人情報も必ず守るために関係職員と話し合っています。</p>	
13	<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人全体で防止を徹底しています。</p>	
4. 理念を実践するための体制			
14	<p>○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約したりする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書の内容を理解し、納得できるように十分説明しています。</p>	
15	<p>○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>法人施設に苦情受付箱が設置され、苦情解決委員会を月1回実施している。</p>	<p>運営推進委員内より、第三者委員も選任しました。</p>
16 (7)	<p>○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>運営推進会議や、福会にこのように際に、報告し、金銭管理帳も各自にコピーして確認していただく。暑中見舞い、ほうみ苑だより、電話等で近況報告する</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	<p>○情報開示要求への対応 利用者及び家族等からの情報開示の要求に応じている(開示情報の整理、開示の実務等)。</p> <p>玄関壁面に掲示している。</p>		<p>★介護記録など見ていただく。</p>
18 (8)	<p>○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。</p> <p>意見・苦情受付箱を設置、又職員も直接気軽に相談を受けようとしております。法人全体での苦情解決委員会で検討して解決しています。</p>		<p>第三者委員選任済み。</p>
19	<p>○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> <p>月1回のミーティング時、又その都度の意見はすぐ反映している。若のみで解決できない事は、法人の業務改善委員会に提案する。</p>		
20 (9)	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p> <p>勤務調整に努めています。</p>		
21 (10)	<p>○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> <p>法人全体での人事異動はあるが、利用者さんに迷惑がつかないように教育し、配慮しています。</p>		
5. 人材の育成と支援			
22 (11)	<p>○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>院内研修、他の研修を受ける機会を確保している。</p>		
23	<p>○職員配置への取り組み 多様な資質(年代、性別、経験等)をもった職員を配置することにより、多様な利用者の暮らしに対応している。</p> <p>老若男女^き配置し、和気あいあいと支援に励んでいます。</p>		
24 (12)	<p>○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>山口県在宅所・グループホーム連絡会を通じて、勉強会相互訪問しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○<u>職員のストレス軽減に向けた取り組み</u> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
26	<p>○<u>向上心を持って働き続けるための取り組み</u> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>		
27	<p>○<u>職員の業務に対する適切な評価</u> 運営者は、高い専門性やリスクを要求される管理者や職員の業務に対し、処遇等における適切な評価に努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
28	<p>○<u>初期に築く本人との信頼関係</u> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。</p>		
29	<p>○<u>初期に築く家族との信頼関係</u> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。</p>		
30	<p>○<u>初期対応の見極めと支援</u> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
31 (13)	<p>○<u>馴染みながらのサービス利用</u> 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
32 (14)	<p>○<u>本人と共に過ごし支えあう関係</u> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
33	<p>○<u>本人を共に支えあう家族との関係</u> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>		
34	<p>○<u>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</u> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。</p>		
35	<p>○<u>馴染みの人や場との関係継続の支援</u> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>		
36	<p>○<u>利用者同士の関係の支援</u> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>		
37	<p>○<u>関係を断ち切らない取り組み</u> サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握</p>			
38 (15)	<p>○<u>思いや意向の把握</u> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>		<p>各自の意見、行動をよく把握する事に努め 本人が暮らしやすい様に努めている。 困難な方には、事故の無いよう見守り対応している</p>
39	<p>○<u>これまでの暮らしの把握</u> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>		
40	<p>○<u>暮らしの現状の把握</u> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>		<p>掃除・タオル干し・洗濯物のため、 お盆拭き、他の方のお世話など簡単な 作業に責任感を持っていただいています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
41 (16)	○ チームで作る利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	職員間で検討し、又家族の方にも相談協力をお願いして、その方に合った介護計画を作成している。	
42 (17)	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月の見直しを検討し、継続、状況の変化は連携病院の医師、看護師などに連絡対応して、現状に即した計画を作成しています。	3ヶ月ごとにモニタリングをしています
43	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録・介護記録を記入している介護計画は、月末に評価して、次の見直しに役立つ	介護記録の評価を次月への見直しは、気づきとして話し合いで活用しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
44 (18)	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人、家族の意向により、リハビリ、又各種病院行事には、積極的に参加しています。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
45	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議の委員として協力を得ています。	
46	○ 事業所の地域への開放 事業所の機能を、利用者のケアに配慮しつつ地域に開放している(認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受け入れ等)。	法人で実習生を受け入れており、グループホーム実習も含まれています。 グループホームの見学に来られる家族もおります。(入所を検討されている方)	
47	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他の介護支援専門員やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	入居(退所)に関しては、他事業との話し合いをしています。	他のサービス利用希望は無し。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	<p>〇地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>		
49 (19)	<p>〇かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>		
50	<p>〇認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>		
51	<p>〇看護職との協働 利用者をよく知る看護職員(母体施設の看護師等)あるいは地域の看護職(かかりつけ医の看護職、保健センターの保険師等)と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		
52	<p>〇早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>		
53 (20)	<p>〇重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>		
54	<p>〇重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>		
55	<p>〇住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>特養への移住が多く、特養職員と情報交換している</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り 組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
56 (21)	〇プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	基本理念に掲げ、日々の介護に実践している。	プライドを傷つけない声かけに努めている。
57	〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人の希望を取り入れ支援しています。 本人に合ったケアプランを作成している	着替え用の服を自ら選んでいただく。 レクリエーションに参加できるように。 水分補給時の飲み物の飲みみ。
58	〇“できる力”を大切にしながら家事への支援 家事(調理、配膳、掃除、洗濯、持ち物の整理や補充、日用品や好みの物などの買い物等)は、利用者の“できる力”を大切にしながら支援している。	家事全般を各自の能力に合った事をしていただく。	利用者さんに自信を持たせる。 自分が必要な人である事を確信している
59 (22)	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している。	その方の生活歴を考慮して、読書(新聞・雑誌)縫い物(雑巾)、園芸などを支援する	利用者さん同士の声かけ合って、生活している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
60	〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	地域の理・美容院に行かせる。又希望される美容院で髪染めさせる。	好みの服を選んでいただく。
61 (23)	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員も同じものを食し、お好み、キザミ、塩分控え、ミキサー食と本人に合った支援もある。 台拭き、お盆拭き、片付けを工夫する。	調理日には野菜の踏み、叩きつぶし 味みなど協力します。
62	〇本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるよう支援している。	水分補給時、本人の希望に応じたものを提供している。 コーヒー、お茶・紅茶・牛乳・等	たばこ、お酒は嗜好される方は無い。 強い希望があれば、医師と相談し、安全第 一で検査する
63	〇気持ちのよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している。	時間を見計って声かけし、誘導してトイレ排泄せに力を入れています。	昼間は尿取りパット一枚のみ。 尿汚染の続く方は夜間/時肉にも声かけ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取り 組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64 (24)	<p>〇入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>		<p>時間帯は、安全を考慮して、職員の数がある時にしている。</p>
65	<p>〇安眠休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
66 (25)	<p>〇役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>		
67	<p>〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や状態に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>		
68 (26)	<p>〇日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>		
69	<p>〇普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>		<p>社協の「そよかせ号」を利用して家族会と共に園芸施設見学に出かけている</p>
70	<p>〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>		
71	<p>〇家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
72	<p>〇家族の付き添いへの支援 利用者や家族が家族の付き添いを希望したときは、居室への宿泊も含め適切に対応している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
73	<p>○家族が参加しやすい行事の実践 年間の行事計画の中に、家族が参加しやすい行事を取り入れ、家族の参加を呼びかけている。</p>	<p>家族会、クリスマス会、夏祭り、誕生会などに気軽に参加していただくようにしている。</p>	<p>クリスマス会、誕生会には一緒に会食(英会話)花見、見送には一泊者に出かける。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
74 (27)	<p>○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。</p>	<p>主治医と相談、指示を受け 職員も認識しています。</p>	
75 (28)	<p>○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関に錠を設置し、外出傾向患者の把握。</p>	<p>複数人の外出傾向患者にあり、安全性を考慮し、やはり玄関のみ施錠する時もあります。</p>
76	<p>○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>理念に掲げ、日々の介護に実践しています。</p>	
77	<p>○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>危険性のある薬品、刃物などの保管している所は夜間施錠しています。</p>	<p>入所者さんの目の届かない様に保管している。</p>
78 (29)	<p>○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>マニュアル作成、緊急事態に対応した院内研修があります。</p>	<p>危険ではないかと感じるときは職員同志声かけ合って見守り強化する。</p>
79 (30)	<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>隣接する病院と連絡を取り合っています。 ミーティングで話し合い、イメージトレーニングする事もある。</p>	
80	<p>○再発防止への取り組み 緊急事態が発生した場合や、発生の可能性が見られた時には、事故報告書や”ヒヤリはつと報告書”等をまとめるとともに、発生防止のための改善策を講じている。</p>	<p>ヒヤリはつと報告書を出し、院内の事故防止委員会を中心として月1回の委員会で防止のための改善を検討している。</p>	<p>業教改善委員、事故防止委員が当番制で各部署をパトロールしている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取り 組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
81 (31)	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	運営推進会議を通じて普段から交流を取り、連絡網を確保し、協力を得ている。		院内の防火訓練に参加している 苑内平面図を使い、避難経路をイメージトレーニングしている。
82	〇リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	本人の状況を説明し、対応策を話し、協力を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
83	〇体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日、朝、昼とバイタルを取り、異変があれば医師、看護師に報告し指示を仰ぐ。		毎朝 バイタルを報告している
84 (32)	〇服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。	処方された薬の服薬注意事項、副作用表を保管し、理解しています。 看護師、医師に相談して、フィードバックしています。		
85	〇便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	食事摂取量、水分補給量、運動、排便、尿表を作成して取り組んでいます。 繊維質の食品(芋、菜、おろし類)を調理しています。		
86 (33)	〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。	食後の歯磨き、うがい、各自に応じた支援をしている 義歯は夜、洗浄剤につけ保管している 歯ブラシ、コップは週1回消毒、乾燥しています。		
87 (34)	〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分摂取量をチェックし、その人に合った支援をしています。 ミキサー食、キザミ、おかり等		
88 (35)	〇感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	入所者、職員全員 予防接種を受ける。 手洗い消毒を行い、感染防止に努めています。 インフルエンザ、ノロウイルス流行時は玄関口にも消毒を置く		
89	〇食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具等、その都度洗浄・消毒を行っています。 食材保管の冷蔵庫の消毒も定期的に行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
90	〇安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	季節の草花を飾っている	
91 (36)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。	季節の花をこまめに生ける。 玄関先・居間、トイレ、廊下に季節は変はる飾りつけ窓を開放して、外気を入れている。	
92	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	自由な暮らしを支援する。	リビング、サニールームでは入所者同士で会話があり、笑い声が出る。
93 (37)	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家庭で使用していた家具などを持参している。	
94	〇換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気に努め、温度調節も本人の希望...に添ってこまめに調節している。 窓を開放、外気も取り入れている。	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
95	〇身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送ることができるように工夫している。	民家利用ですが、手すり、スロープを付け安全に努めている。 浴室内外に滑り止めマット、バスボードを利用している。	
96	〇わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	理念に掲げているように、一人一人の違いを見て、自立に向けた支援をしている。 表札など工夫して掲示している。	
97	〇建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	季節に応じて、いすなど設置、移動して楽しめるようにしている。	外気浴で戸外に出て、水筒神体などしています。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
V. サービスの成果に関する項目		
98	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> ④ほとんど掴んでいない
99	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	<input checked="" type="checkbox"/> ①毎日ある <input checked="" type="checkbox"/> ③たまにある <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
100	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
101	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
102	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
103	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
104	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
105	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等と <input checked="" type="checkbox"/> ③家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> ②家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない
106	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ③たまに <input checked="" type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
107	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input checked="" type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ④全くいない
108	職員は、活き活きと働いている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
109	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
110	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない